

- +++++
- ◇ 日本学術会議 中国・四国地区会議学術講演会
「大災害への備え—いのちと暮らしを守るために—」の開催について（ご案内）
 - ◇ 日本学術会議 近畿地区会議学術講演会
「環境といのち — 智恵なすわざの再生へ」の開催について（ご案内）
 - ◇ 「MICEシンポジウム2013」の開催について（ご案内）
- +++++

■
日本学術会議 中国・四国地区会議学術講演会
「大災害への備え—いのちと暮らしを守るために—」の開催について（ご案内）
■

- ◆日 時：平成25年12月7日（土）13：30～17：00（13：00開場）
- ◆場 所：かがわ国際会議場（サンポート高松）
（JR高松駅前シンボルタワー、タワー棟6階）
- ◆主 催：日本学術会議中国・四国地区会議、香川大学、香川高等専門学校
- ◆共 催：（公財）日本学術協力財団
- ◆後 援：国土交通省四国地方整備局、香川県、高松市、
東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

- ◆目 的： 近未来には南海トラフの四連動による巨大地震の襲来や、異常気象による風水害の増大が想定されています。中国・四国地区でも大災害への備えが必須となっていることから、人々の命と暮らしを守るための取組を、市民の方々とともに改めて考えていくことを目的としています。

- ◆対 象： 高校生・大学生から高齢者の方たちまで、広く一般市民を対象としていますが、防災関係の専門家にも参加いただけることを期待しています。

- ◆次 第：
13：30～13：45 開会挨拶
嘉門 雅史（日本学術会議中国・四国地区会議代表幹事、
香川高等専門学校校長）

大西 隆（日本学術会議会長、慶應義塾大学大学院政策・
メディア研究科特別招聘教授、東京大学名誉教授）

13：45～17：00 講 演
「強靱な国土創成と国土管理」
大西 隆（日本学術会議会長、慶應義塾大学大学院政策・
メディア研究科特別招聘教授、東京大学名誉教授）
「巨大災害から生命と国土を守る」
和田 章（日本学術会議第三部会員、東京工業大学名誉教授）

「災害復興と地方再生」
米田 雅子（日本学術会議連携会員、
慶應義塾大学理工学部特任教授）

「地域の災害への備え（DCM）」
白木 渡（香川大学危機管理研究センター長）

- 参加無料、どなたでも参加いただけます。参加事前申込をお願いします。
- 詳細はこちら
<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/177-s-1207.pdf>
- アクセス
<http://www.symboltower.com/access/>
- 参加申込方法
下記問合せ先に、「お名前」、「連絡先（電話番号及びメールアドレス）」を記載の上、FAX又はメールにてお申込み願います。
- お問合せ先：（独）国立高等専門学校機構香川高等専門学校総務課
TEL：087-869-3811 FAX：087-869-3819
E-mail：soumu@t.kagawa-nct.ac.jp

日本学術会議 近畿地区会議学術講演会
「環境といのち — 智恵なすわざの再生へ」の開催について（ご案内）

◆日時：平成25年12月15日（日）14：00～17：30

◆場所：京都大学芝蘭会館稲盛ホール
（京都大学医学部構内・京都市左京区吉田近衛町）

◆主催：日本学術会議近畿地区会議、京都大学

◆後援：（公財）日本学術協力財団

◆趣旨：地球環境が大きく変動するなかで、気候、生態系、水環境など様々なところで起きている変動の相互の関係を見直し、全体として問題を把握する必要が出てきています。共生を念頭に置いた地球規模での持続可能性について考えるべき時代だといえるでしょう。これは自然科学にだけ限られた課題ではありません。持続可能な社会実現のために、人間中心主義への反省や、自然・人間・文化の関係の見直しなど、文理融合的な発想で、課題解決への道を模索しなければなりません。山川草木すべてに宿る「生」、「いのち」とどう向き合うか、人類には何ができるのか、何を為すべきなのか。人類の智恵なすわざを再生していくために、地球環境学、環境宗教学、薬学それぞれの立場から、人類の描くべき未来のデザインについてお話いただきます。

◆次第：

開会挨拶

橋田 充（日本学術会議近畿地区会議代表幹事、
京都大学大学院薬学研究科教授）

三嶋 理晃（日本学術会議連携会員、京都大学理事・副学長、
京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学教授・
京都大学医学部附属病院 病院長）

講演

「人間にとって地球とは何だろうか？」

安成 哲三（日本学術会議第三部会員、
人間文化研究機構・総合地球環境学研究所所長）

「草木国土の声を聴く」

岡田 真美子（日本学術会議連携会員、
兵庫県立大学環境人間学部・教授）

「『自然・人間・文化』と薬」

伊藤 美千穂（日本学術会議連携会員、
京都大学大学院薬学研究科・准教授）

閉会挨拶、総合司会

鈴木 晶子（日本学術会議第一部会員、
京都大学大学院教育学研究科・教授）

■ 参加費無料、どなたでも参加いただけます。

■ 詳細はこちら

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/179-s-1215.pdf>

■ アクセス

<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/shiran/kotsu/>

ご来場にあたっては公共交通機関をご利用願います。

■ お問い合わせ先：日本学術会議近畿地区会議事務局（京都大学研究国際部内）

TEL：075-753-2041 FAX：075-753-2042

Email：kensui.soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

「MICEシンポジウム2013」の開催について（ご案内）

観光庁及び日本政府観光局（JNTO）では、国際会議等（MICE※）の日本への誘致・開催を促進するため、MICE見本市「第23回国際ミーティング・エキスポ（IME2013）」のプログラムの一つとして、「MICEシンポジウム2013」を開催します。シンポジウムでは、前東京大学総長で、三菱総合研究所理事長の小宮山 宏氏や、海外の大手会議運営会社の Gonzalo Perez Constanzo 氏をお招きし、国際会議

開催の意義や世界の最新動向について学ぶとともに、国際会議と都市の成長戦略の関わりについて議論します。

国際会議の誘致・開催に関わる学協会の方々を対象としておりますので、ご興味をお持ちの方は、下記のホームページよりお申し込みください。

※MICEとは…企業会議 (Meeting)、企業の報奨・研修旅行 (Incentive)、国際会議 (Convention)、展示会・イベント (Exhibition/Event) を総称したもの。日本語の読みはミス。

■日時：平成25年12月11日(水) 13:00~15:30 (12:30 開場)

■場所：東京国際フォーラム IME2013内 セミナースペース

■対象：国際会議等 (MICE) 主催者、自治体等MICE関係者

■詳細URL：

<https://reg.nikkeibp.co.jp/reg/contents/ime2013/index.html#symposium>

■参加申込：事前の登録が必要。上記のURLからお申し込みください。

■参加費：無料

<お問い合わせ先>

観光庁参事官室 (国際会議等) 担当：柳瀬、巽

TEL：03-5253-8938 FAX：03-5253-1563

E-mail：jp-mice@mlit.go.jp

添付ファイル付メールの自動暗号化について

内閣府の情報セキュリティ強化の方針に基づき、本年10月17日以降当事務局から送信する添付ファイル付メールについては、添付ファイルが自動暗号化される場合があります。メールに添付されているファイルを開く際、パスワード入力画面が表示される場合は、並行して届くメールに記載されているパスワードをご入力ください。

既に添付ファイルを開けない旨ご連絡をいただいた会員、連携会員の皆様につきましては、余計なご負担をかけないよう、事務局内で個別に自動暗号化を解除する方法で送信するよう周知しております。場合によっては、手違いにより自動暗号化された添付ファイル付メールが送られる恐れがあります。その際は、大変お手数ではございますが、事務局までご連絡いただきますよう、お願いいたします。

(ご連絡・お問い合わせ先)

日本学術会議事務局企画課情報係

E-mail:p228@scj.go.jp 電話：03-3403-6295

★-----☆

日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

☆-----★

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34